「咢堂ブックオブザイヤー2018」の発表について

— 平成の締めくくり、2018 年を代表する書籍(計 7 部門 16 冊)が決定 —

一般財団法人尾崎行雄記念財団(所在地:東京都千代田区永田町1丁目1番地1号)はこのたび、「咢堂ブックオブザイヤー2018」を下記のとおり選定しましたのでお知らせいたします。

憲政の父・尾崎行雄の雅号咢堂(がくどう)を冠するリーダー育成塾「咢堂塾」塾生ならびにスタッフ、 財団役員が中心となって選考に当たり、今年を代表するにふさわしい政治関連書籍(部門別大賞11席、 特別賞5席)が選出されました。

【部門別大賞】

総合部門・平成の政治(御厨貴・芹川洋ー編著、日本経済新聞出版社)

国政部門 ·政策至上主義(石破茂、新潮新書)

・足立無双の逆襲(足立康史、悟空出版)

地方部門・ビレッジプライド(寺本英仁、ブックマン社)

・凡人のための地域再生入門(木下斉、ダイヤモンド社)

選挙部門・ドキュメント 候補者たちの闘争(井戸まさえ、岩波書店)

・地方選挙 必勝の手引(松田馨、選挙の友出版)

演説部門・枝野幸男、魂の3時間大演説(枝野幸男、扶桑社)

・安倍晋三の真実(谷口智彦、悟空出版)

メディア部門・ファクトチェックとは何か(立岩陽一郎・楊井人文、岩波ブックレット)

·平成政権史(芹川洋一、日本経済新聞出版社)

【特別賞】

- ・犠牲者 120 万人 祖国を中国に奪われたチベット人が語る 侵略に気づいていない日本人(ペマ・ギャルポ、ハート出版)
- ・ホモ・デウス(ユヴァル・ノア・ハラリ著、柴田裕之訳、河出書房新社)
- •議会学(向大野新治、吉田書店)
- 移民政策のフロンティア

(移民政策学会 10 周年記念論集刊行委員会編、明石書店)

・リンカーンのように立ち、チャーチルのように語れ

(ジェームズ・ヒュームズ著、寺尾まち子訳、海と月社)

以上

<本件の詳細に関するお問い合わせ先> 尾崎行雄記念財団事務局 石田・高橋 メール info@ozakiyukio.jp

ホームページ https://ozakiyukio.jp/